

市長定例記者会見資料



令和5年5月30日		
所 属	特別支援教育担当	いくしあ推進課
所属長	勘舎 晃行	東 和幸
電 話	06-6423-2553	06-6423-9995

こども家庭庁 こどもデータ連携実証事業に採択 —支援の必要な子どもへの切れ目のない支援を目指して—

こども家庭庁が実施する「こどもデータ連携実証事業」に尼崎市が採択されました。

尼崎市は、発達に課題を抱える子どもの早期発見と小学校入学後の適切な支援に向けて、支援を要する可能性のある子どもの在籍園での状況を把握するため、市内統一の調査票により収集した情報を就学予定の小学校に情報提供を行うモデル事業を行っています。

そうした中、令和5年度は、こども家庭庁の実施する同事業に参加し、現在紙ベースで管理しているこうした調査票や就学時健康診断の情報などをデータベース化し、発達に課題を抱えるなど教育的支援の必要な子どもを早期発見するためのシステム（就学前の子ども情報システム※1）及び、教員等が支援に活用するシステム（特別支援教育システム※2）の構築に取り組み、切れ目のない支援を目指します。

1 令和5年度の実施概要

「就学前の子ども情報システム」により、就学時健康診断の「児童面接」の結果をデータ化し、「特別支援教育システム」に取り込むとともに就学前施設と連携しながら、具体的な配慮や相談支援を情報共有し、小学校就学前から就学以降の一貫した切れ目のない支援の実現を目指すとともに、学校現場において必要な支援の充実を図ります。

さらに、福祉系システムにデータを取り込むことで、保健・福祉との連携による個別支援や支援者支援に活用し、教育・保健・福祉が連携した支援を可能とする体制構築を行います。

2 支援の流れ

小学校入学時点において、支援の必要な子どもを早期発見し、プッシュ型支援を行います。

① データ連携による支援の必要な子どもの早期発見

就学時健康診断の児童面接結果や就学前施設における支援等をデータ連携することにより、支援の必要な子どもを早期に発見します。

② 個別支援内容の検討

支援の必要な子どもに円滑な支援を行うため、就学前データを「特別支援教育システム」に取り込み、学校現場においては、子ども一人ひとりの教育支援計画等の作成に活用するとともに、校内支援委員会や個別ケース会議などで具体的な支援の方策を検討します。

③ プッシュ型支援の実施

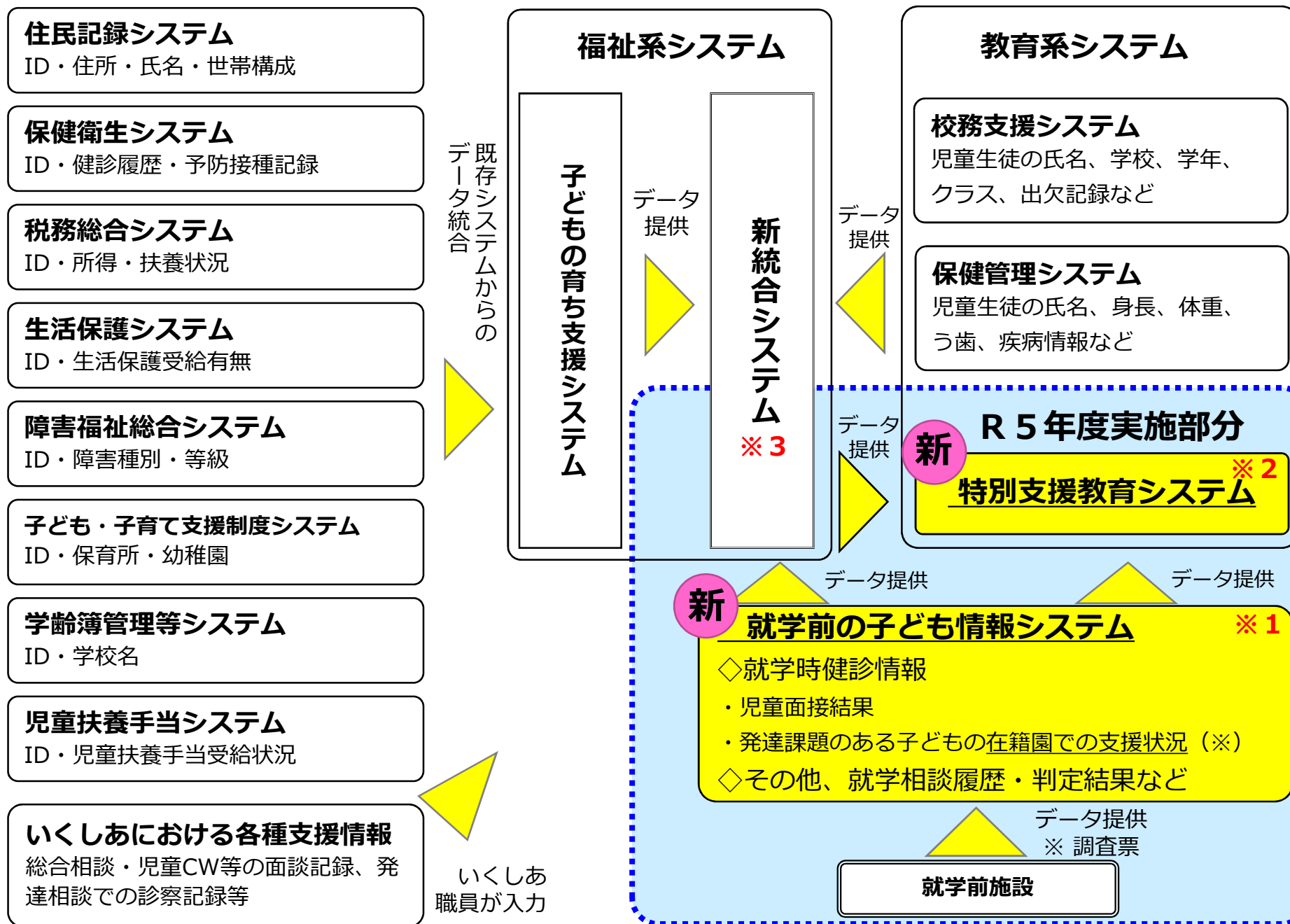
上記の検討をもとに、小・中学校などにおいて適切なタイミングで必要な支援を行います。また、必要に応じて児童専門ケースワーカーやスクールソーシャルワーカーなどによる見守り支援に取り組みます。

3 本市の目指す支援

本市では、令和4年度にもデジタル庁の実証事業に参加し、福祉系システムと教育系システムのデータを連携する「新統合システム※3」の構築などを進めており、今後も教育・保健・福祉が一体となり支援の必要な子どもへの切れ目のない支援の充実に取り組んでいきます。

以 上

尼崎市における子どものへ切れ目ない支援に向けたデータ連携イメージ



令和5年度実証事業の概要

就学時健康診断児童面接結果

児童ID	氏名	性別	年齢	健康診断結果	面接結果	備考
1	山田 太郎	男	5	健康	発達障害の疑いあり	
2	佐藤 花子	女	5	健康	発達障害の疑いなし	
3	鈴木 一郎	男	5	健康	発達障害の疑いあり	
4	田中 美咲	女	5	健康	発達障害の疑いなし	
5	高橋 健太	男	5	健康	発達障害の疑いあり	

手書き文字等の
OCR読み取り



新設

就学前の子ども情報
システム

新設

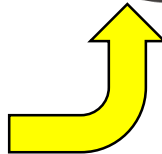
特別支援教育
システム

個別の教育支援計画の作成

就学前施設からの情報

児童ID	氏名	生年月日	備考
1	山田 太郎	2019年10月10日	発達障害の疑いあり
2	佐藤 花子	2019年10月10日	発達障害の疑いなし
3	鈴木 一郎	2019年10月10日	発達障害の疑いあり
4	田中 美咲	2019年10月10日	発達障害の疑いなし
5	高橋 健太	2019年10月10日	発達障害の疑いあり

手書き文字等の
OCR読み取り



既存

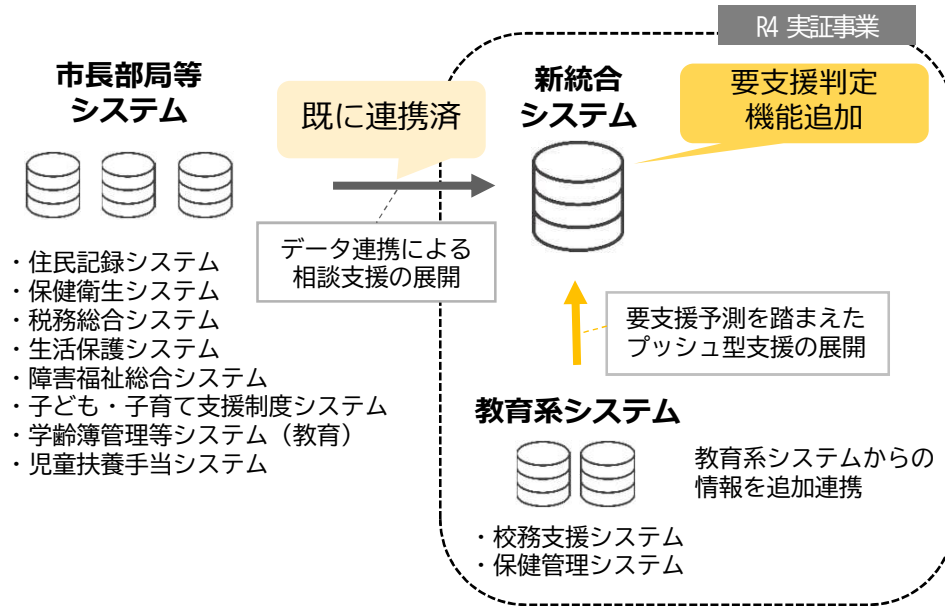
新統合システム



要支援予測を踏まえた
プッシュ型支援の展開

支援の必要な子どもを早期に発見し、一人ひとりに寄り添った適切な支援を行うとともに、切れ目のない支援の充実にに向けて取り組んでいきます。

令和4年度実証事業の概要



画面イメージ



令和4年度実証事業における要支援判定とプッシュ型支援

